

令和3年度第1回志木市社会教育委員会議録

日時 令和3年6月9日（水）

午後1時30分

～3時10分

場所 いろは遊学館第1研修室

出席者 委員：竹前榮二、宮原正幸、有馬隆江、一ノ倉達也、稲垣真記、
山下美香、野島悦子、鈴木民雄、星野祐子、松田良蔵、
前田喜春、中村和子、木下武久（順不同、敬称略）
市：柚木教育長、土崎生涯学習課長、浅見主幹、武井主任
石川主任

1 開 会 土崎生涯学習課長

2 委嘱状交付式 交付：柚木教育長
石井 都氏については、欠席のため後日委嘱状を送付する。

3 あいさつ 柚木教育長
竹前榮二議長

4 職員紹介 土崎生涯学習課長、浅見主幹、武井主任、石川主任

5 協議事項 進行：竹前榮二議長

- (1) 令和3年度志木市社会教育関係補助金について 説明：浅見主幹
- ・運営費補助金について
 - ・事業費補助金について

事務局より説明

社会教育法第13条に基づき、社会教育団体に補助金を交付する場合は、教育委員会が社会教育委員から意見を伺わなければならない。

今回の運営費及び事業費補助金の算出は例年通りの方法で行った。事業費補助金については10団体から申請があった。新規として「宗岡トランペット鼓隊」より申請があった。また、新型コロナウイルス感染対策補助金として、申請があった団体には、各団体上限3万円まで補助金を交付する。

- (議長) 事務局からの説明に対し、質問はないか。
- (委員) コロナで事業できなかった場合は、返金する必要があるか。
- (事務局) 補助金対象事業が行われなかった場合は、返金していただく必要がある。
- (委員) 新規の「宗岡小学校トランペット鼓隊」の事業「さよならコンサート」とはなにか。
- (事務局) 市内の小学6年生を対象とした、演奏会を行う事業と把握している。
- (委員) コロナウイルス感染防止対策補助金の申請の手順を伺う。
- (事務局) 本日補助金交付が決定すると、決定通知・請求書を送付する。
その後、請求書を提出していただく際に、コロナ補助金の予算書と記入例をお渡しする。報告の時に、各単会で作成した書類を連合会でとりまとめて提出してほしい。
- (委員) 通常の補助金にコロナ補助金が追加されたという考えでよいか。
- (事務局) その考えで間違いない。
- (委員) 各団体でも行事が中止になったと話があった。しかし、組織を守るためにも、コロナ禍でも感染対策をして開催する必要があると考えている。
- (議長) 各団体書面総会が多いと思うが、モヤモヤすることも多い。対面して意見を交わすことも大事と考える。

(2) 社会教育委員として「志木の田子山富士塚」の周知について
説明：浅見主幹

事務局より説明

「志木の田子山富士塚」が、「国指定重要有形民俗文化財」に指定されたことから、昨年度記念事業を行い、事業報告書を作成した。しかし、新型コロナウイルス感染防止の観点から、集客をするような事業は行うことができなかった。今後、より市民に周知をするため、社会教育委員の方々からご意見をいただきたい。

- (委員) 事業報告書は200部作成した。田子山富士保存会として把握しているのは、北海道から九州まで集客があり、市内在住の方は、お宮参りの際に敷島神社に来て田子山富士塚を知るケースがあるようである。志木市にはたくさん文化財があるが、田子山富士塚へは、市民の方に1度は訪れていただきたいと考えている。
また、駅前などに看板を設置したが、目立っていない印象であり、もっと宣伝の場をつくりたい。

- (委員) 富士塚として非常に優れているということを今回の動きで初めて知った。誇るべき文化財が市内にあるということを知らない市民が、他にもいるのではないかと思う。元々、文化財に興味のある方を目的とする企画ではなく、市内巡りなどの参加して楽しい企画を行い、そこで紹介することで文化財のことを知ってもらうという案はどうか。
- (委員) 志木のまち案内人の会では、市内案内を1日10人から15人くらいで行っている。
- (議長) 市民が歴史を知ることで郷土愛が育まれる。
- (委員) 富士塚登山日を土日にすることは難しいのか
- (委員) 現在は大安と友引を登山日としている。登山道の状態によっては登山日でも公開を中止していることもある。田子山富士保存会としては、市民に周知はできてきたと考えている。
- (委員) 郷土の歴史を広く知っていただくのは重要だと思うが、登山日を増やすと当番の方が大変になる。当番の方、保存会の人員を増やす案を考えるのはどうか
また、子ども会の会合などで、時間を作って来ていただくというのはどうか。
- (委員) 小学校によっては来てくれることもある。小学3年生4年生では「昔の生活」「志木の歴史」学といった授業で学ぶ時間がある。
- (委員) SNSなどで周知したらどうか。登山日でも、その日の山のコンディションで登山中止しているというのもSNSならばわかりやすい。しかし、コンプライアンスには注意が必要である。
- (委員) HPには動画がある。
- (議長) 保存・活用について他に意見あるか
- (委員) 新座市の事例で「トラベルライティングアワーズ」というものがあり、大学生が訪れたところをエッセイにするという企画である。志木市でいうと「子ども文化賞」のようなもの。大学生に意見を求めてみるのも斬新な意見がでるかもしれない。
田子山富士塚の歴史をアニメーションにしたり、YouTubeで公開する案はどうか。
- (議長) 今の若い人は様々な機会で見聞している。
今後も、多くの人に周知できるよう生涯学習課も検討してほしい。

(3) 八ヶ岳自然の家視察について 説明：浅見主幹

事務局より説明

「八ヶ岳自然の家」は例年市内の小学生が宿泊学習で使用する社会教育施設であり、今年度、社会教育委員の皆様と視察を行いたいと考えている。

(委員) 市内小中学校全てに行っているのか

(事務局) 今年から、中学校はスキー教室のため小学校のみ。和光市の小学校の利用もある。

(委員) 朝霞市はどうか

(事務局) 朝霞市の小中学校の利用はない。

(事務局) いつごろの実施がよいか。事務局としては学校の宿泊学習もあるので、9月はどうかと考えている。11月から閉所となる。

(議長) よいのではないか。

(4) その他

(事務局) 生涯学習推進指針の概要版を作成した。今年度は、冊子ではなくリーフレットにしている。

(事務局) 人権教育推進協議会より啓発物資の連絡。

人権啓発のため、バックとクリアファイルを作成した。委員の皆様にも活用をお願いしたい。

(事務局) 次回の会議は、8月23日(月)に予定。場所は未定。

6 閉 会 有馬隆江副議長